

令和元・2年度

国立教育政策研究所教育課程研究センター指定

教育課程研究指定校事業（国語科）

中間発表会



四万十市立中村小学校
令和元年11月1日（金）

発表の内容

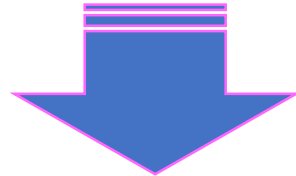
- 1 研究の概要
- 2 具体的な取組
- 3 成果と今後の方向性



1 研究の概要

児童の現状

- ▲目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
- ▲漢字を文の中で正しく使う
- ▲文章を読んで必要な情報を取捨選択して、活用する
- ▲自分の考えをまとめて伝えたいことを明確にして書く



児童の課題

目的や意図に応じて、
自分の思いや考えを明確にして論理的に表現する力

研究主題

目的に応じて必要な内容を整理し、
自分の考えを明確にして書く力を高める
学習指導の在り方

～学習過程の工夫と情報の扱い方に関する指導を通して～

研究主題

目的に応じて必要な内容を整理し、自分の考えを明確にして書く力を高める学習指導の在り方
ー学習過程の工夫と情報の扱い方に関する指導を通してー

国語科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

指導の方向性

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言葉の特徴や使い方などを問い直し意味付けの中で、言葉への自覚を高めるとともに、自分の思いや考えを深める学習の充実を図る。
- 複数の文章や資料から必要な情報を取り出し、それらを比較したり関係付けたりする活動を工夫する。
- 学校図書館を利用し、様々な本などから情報を得て活用する読書習慣を定着させる。

資質・能力ベースの授業づくり

- ①当該単元で、身に付ける資質・能力を明確にする。
- ②付けたい資質・能力に最適な言語活動を、単元全体を通して設定する。
- ③課題解決の過程で、子ども自身が言葉に着目したり、言葉を吟味したりする学習を工夫する。
- ④単元のまとまりの中に「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を効果的に位置付ける。
- ⑤課題解決の過程において、比較、分類、関連付けなどの思考のスキルを活用させる。
- ⑥問い返す力をつけるために、「問い返す語集」を活用する。
- ⑦学びを実感させる振り返りを工夫する。
- ⑧対話による学び合いは、思考を広げ深めるために行う。
- ⑨思考の過程や自分の思いや考えを適切に表現できるノート指導を行う。
- ⑩習った漢字は文脈の中で使わせる。
- ⑪学校図書館の機能を活用し、読書意欲や情報活用能力を高める。

言葉の力を磨く

国語科における本校の課題

- ▲文章の内容や形式等を正確に理解したりすること
- ▲目的に応じて文章を要約したり、複数の情報を関係付けて整理・解釈すること
- ▲目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書いたり、自分の考えを明確にして書いたりすること
- ▲複数の本や資料を読み、課題解決のために必要な情報を取捨選択し、効果的に活用すること
- ▲話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめること
- ▲漢字を文の中で正しく使うこと

教育目標 「豊かに学び、共に生きる喜びをもつ児童の育成」～かしこく やさしく たくましく～

【研究主題】

目的に応じて必要な内容を整理し、自分の考えを明確にして書く力を高める学習指導の在り方
ー学習過程の工夫と情報の扱い方に関する指導を通してー

研究内容

①学習過程の工夫

- ・身に付けさせたい資質・能力の明確化と最適な言語活動
- ・目的や必要性を感じられる課題設定
- ・言葉を通して自分の思いや考えを形成する学習過程
- ・言葉による見方・考え方を働かせ、思考を深める発問
- ・主体性を持たせたり有用性を実感させたりする振り返り

②情報の扱い方

- ・情報を相手に分かりやすく伝えるための学習活動の工夫
- ・選択した情報と自分の経験・知識を統合させ、考えを形成し深める指導の工夫

育成を目指す資質・能力を明確化し、情報の扱い方に関する指導を工夫すると共に自分の考えを形成する学習過程を工夫することで、自分の考えが明確になり書く力も高まっていく。その際、主体的・対話的で、深い学びの観点から授業改善を図ることで、豊かに学び、共に生きる喜びをもつ児童の育成に迫る。

2 具体的な取組

- (1) 国語科授業の方策の共有
- (2) 単元構想図の作成と見直し
- (3) 推敲チェックリスト
- (4) 授業研究
- (5) 語彙指導の充実

(1) 国語科授業の方策

研究主題を追究するための国語科授業の方策

- ① 目的と相手意識を明確にした課題を設定する。
- ② 構成、記述の後に他者からの評価を繰り返して位置付け、自分の考えを形成する学習過程を重視する
(螺旋的な学び)
- ③ 言葉の意味や働き、使い方に着目させる。
- ④ 選択した情報と自分の経験・知識を統合させ、考えの形成・深化を図る。
- ⑤ 新聞記事や写真、パンフレットといった様々なタイプのテキストを活用し、そこから抜き出した情報を評価しながら、自分の考えを発展させたり、論述し合ったりする活動を多く取り入れる。

(2) 単元構想図の作成と見直し

国語科単元構想図 (学習材) 東京書籍 年 授業者 ()

1 単元構想

単元で身に付けたい
資質・能力

言語活動とその特徴 教材の特質

有効な
言語活動

教材の特質

指導事項の明確化
(付けたい力)

児童の実態 指導案

2 単元の目標及び単元の評価規準

(1) 単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

3 単元の系統性

1年 2年

他学年との系統性
(付けたい力)

4 研究主題に向かう
主な手立て

研究主題：目的に応じて必要な内容を整理し、自分
ー学習過程の工夫と情報

5 学習の流れ

学習過程 主な学習内容及び学習活動 評価規準・指導上の留意点 言語活動 言葉による見方・考え方の成長

学習目的の明確化と共通し 題材の設定 内容の検討・構成の検討 考えの形成・記述 表現活動・単元の振り返り 共有

学習過程の工夫

単元ゴール時の
児童の姿をえがく

見方・考え方を働かせてい
く児童の姿

言葉による見方・考え方の成長

本単元終了時の目指す児童の姿

(3) 推敲チェックリスト

文章を磨こう！見直しのためのチェックリスト

3・4年生

四万十市立中村小学校 ()年()組 名前()

	チェック項目	チェックらん
1	文字のまちがいはないかな	
2	文字のぬけてるところはないかな	
3	、や。の打ち方はあっているかな	
4	習った漢字を使っているかな	
5	かぎかっこ「 」(会話文)の使い方は合っているかな	
6	段落の始めは、行を変えて一マス空けているかな	
7	文章の最後は、「です。ます。」「～である。～だ。」になっているかな。 (文末表現は統一されているかな)	
8	主語、述語の関係は正しいかな	
9	接続語の使い方は正しいかな	
10	自分の考えがはっきり書けているかな	
11	長すぎる文、意味が分からない文はないかな	
12	出来事の大事なことを落とさないように書いているかな	
13	事実と感想、意見などを区別して書いているかな	
14	数字や名前など正しく書いているかな	

例

伝えたいことに合わせて、記事の分量や置き場所を考えているかな(わり付け)

文章を磨こう！

見直しのためのチェックリスト

(中学年用)

(4) 授業研究

「呼びかけよう！安心・安全な中小を目指して」
〈資料を生かして考えたことを書こう〉 東京書籍5年



単元で身に付けたい力

資料から情報を読み取り、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、資料と自分の考えを関連付けて文章を書く力

「呼びかけよう！安心・安全な中小を目指して」
〈資料を生かして考えたことを書こう〉 東京書籍5年

- 情報の収集を重点的に指導→追加取材
- 理解（教材文）→表現（自分たちのポスター）
 - ①資料の読み取り→集めた資料②呼びかけ文③ポスター
- 呼びかけ文やポスターを作る際に活用する資料を限定する
資料から分かることを整理、資料の比較、考えと関連付けて選択



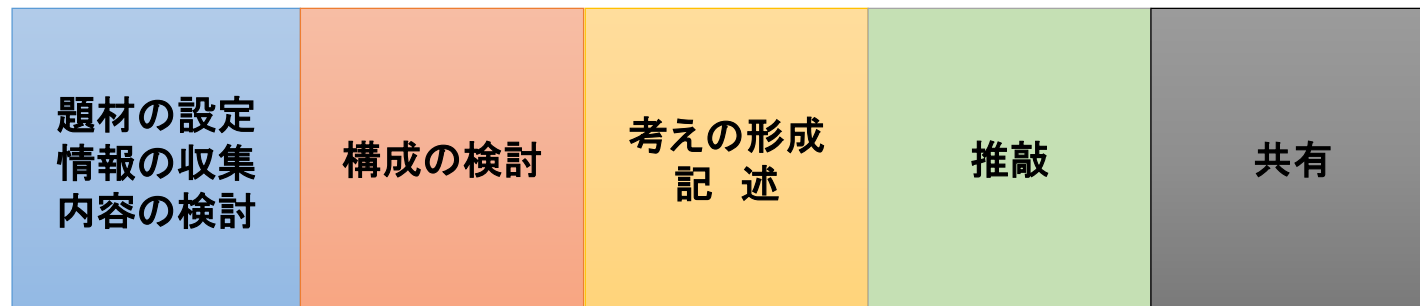
教材で資料を読み取り
考察する



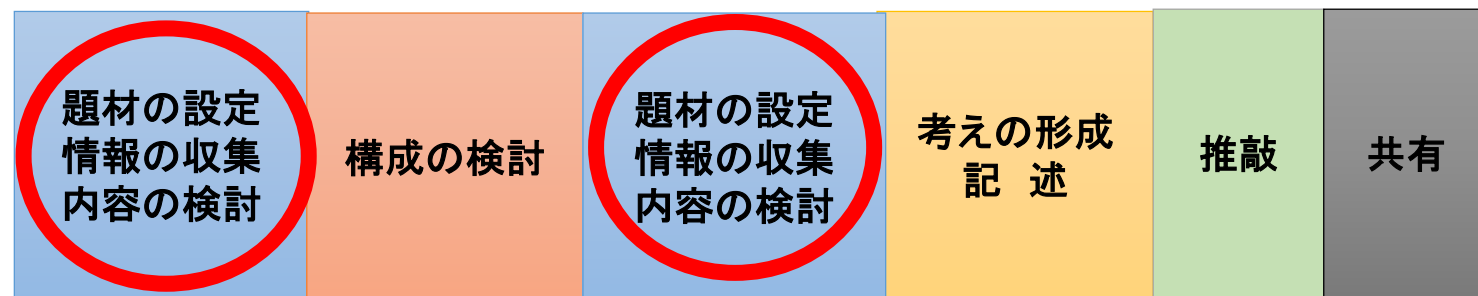
目的に応じて
資料を集める・情報を選ぶ

学習過程の工夫

〔国語科「書くこと」の基本の学習過程〕

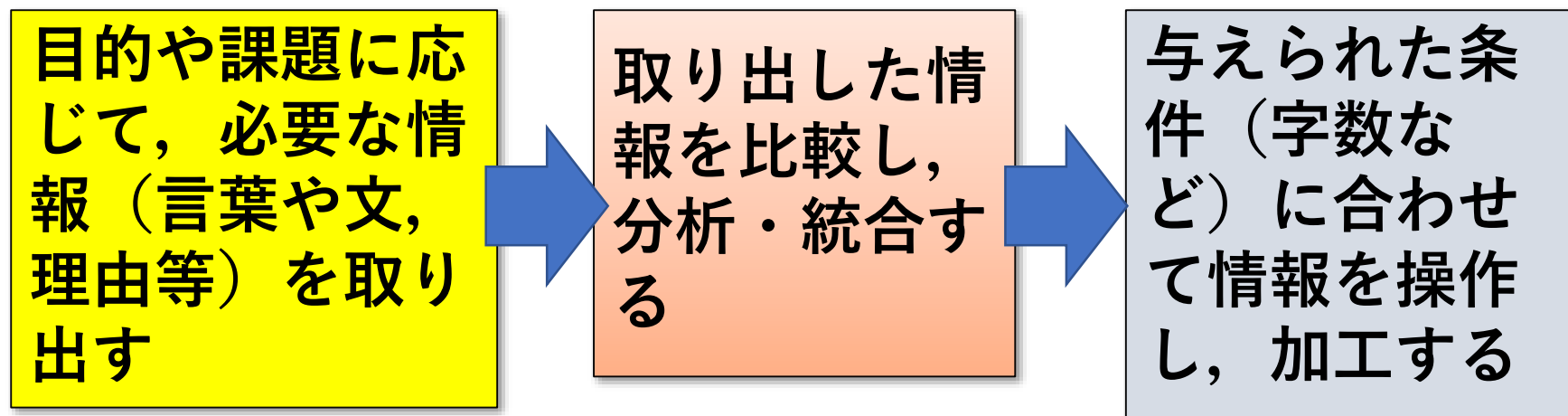


〔中村小学校 5年 情報の収集に重点を置いた学習過程〕



※指導のねらいを重点化することで、学習過程の順序や内容、単元の時間構成を工夫する。

情報の扱い方に関する指導の工夫



情報整理→考えの形成

「呼びかけよう！安心・安全な中小を目指して」
〈資料を生かして考えたことを書こう〉 東京書籍5年



目的に応じて
呼びかけ文を書く

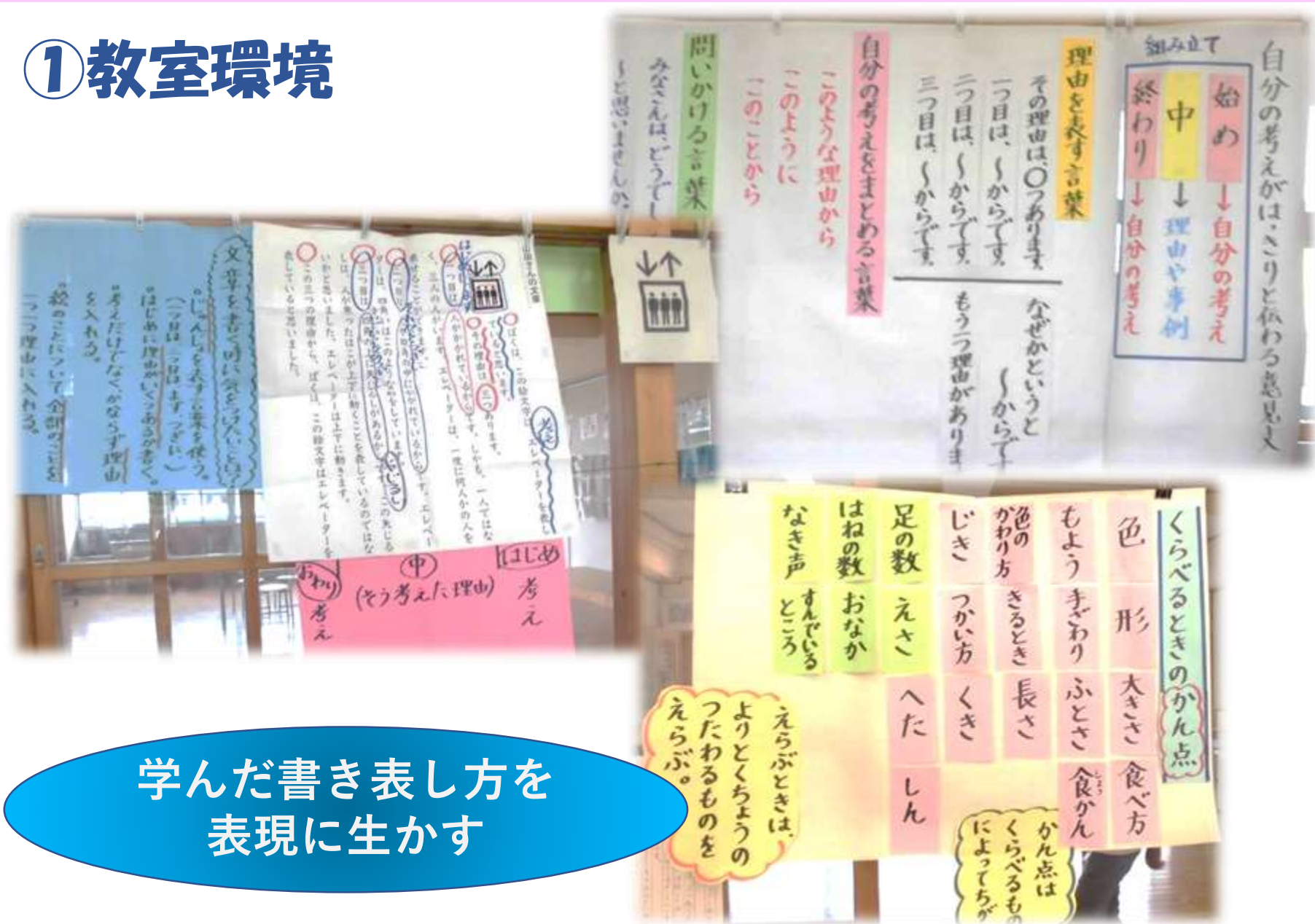


考えに合った
見出しをつける

書く原動力
本気にさせる課題設定

(5) 語彙指導の充実

① 教室環境

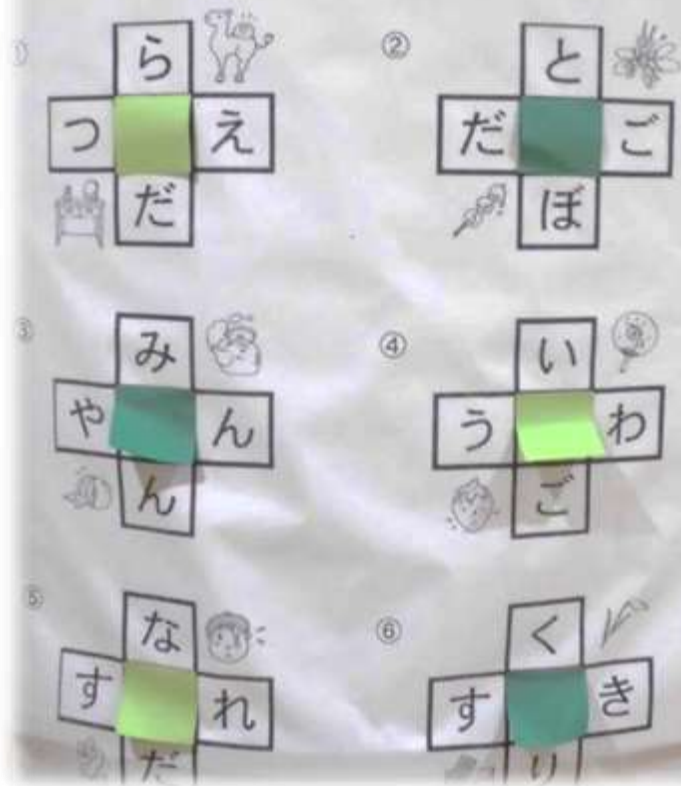


(5) 語彙指導の充実

②言語環境づくり

2つのことばクロス

たて、よこ、2つのことばができるようにまん中の口に文字を入れましょう。



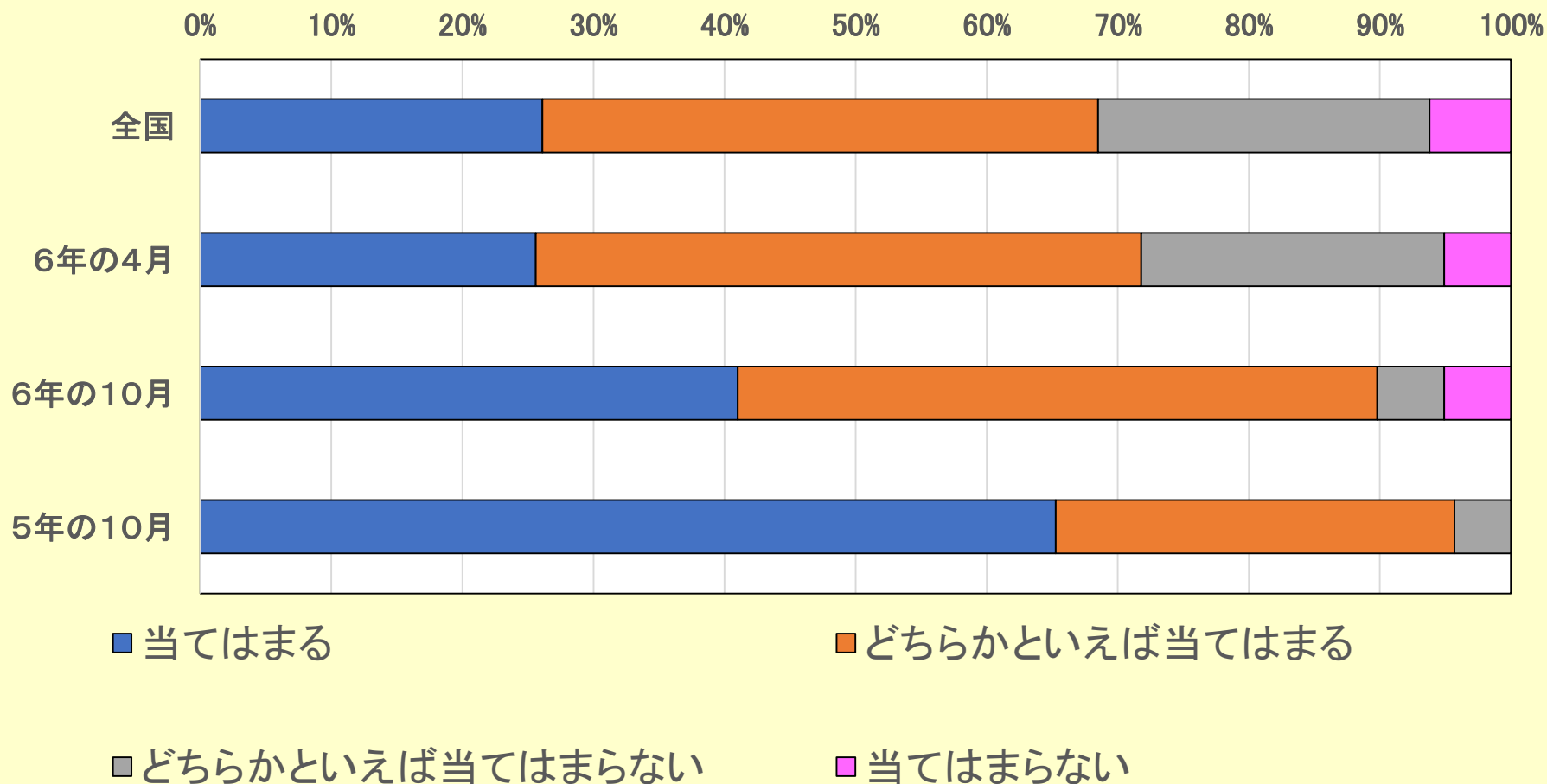
3. 成果と今後の方向性



成果

- ・「書くこと」に対する児童の意欲が高まった
- ・自分の考えを書くとき、文章の組み立てを工夫する児童が増えた

国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、
うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章
の組み立てを工夫していますか。



今後の方向性

①育成を目指す資質・能力の明確化

- ・指導のねらいの重点化，有効な言語活動
- ・本物の相手意識，目的意識

②指導のねらいに応じた学習過程の工夫

- ・指導のねらいの重点化「書くこと」の単元構成

③情報の整理，取捨選択，自分の経験・知識との統合

④国語科で育成すべき資質・能力と他教科との関連



ご清聴ありがとうございました